

令和2年度 相談苦情解決担当者会議

実施日時：令和3年5月18日（火）14時00分～15時00分

場所：くすの子保育園（ほしグループ保育室）

出席者：藤谷 憲秀（第三者委員）
村山 雅子（第三者委員）
榎松 基（ふじヶ丘保育園園長 相談苦情解決責任者）
松下 利衣（くすの子保育園園長 相談苦情受付責任者）
村永 真貴子（ふじヶ丘保育園 相談苦情受付担当者）
長松 麻美（くすの子保育園 相談苦情受付担当者）
熊原 亜也（ふじヶ丘保育園 相談苦情受付担当者（令和2年度））

<報告書>

「新型コロナウイルスについて」

- ・マスク着用については、変異株も増えてきているため、厚労省などに確認し年齢によっては着用を推奨することも必要になっていくのではないかと。最終的には家庭の判断に任せることにはなるが、情報提供ができるようにすることも必要。
- ・換気が効果的と言われている。扇風機やCO2濃度計測器などを活用している事例もある。
- ・マスクをしていると表情が見えないことや声が届きにくいこともあるが、一番重要なのは感染しない、させないこと。感染を防ぐ点では不織布のマスクが一番とされているが、距離がとれているのであればフェイスシールドという方法もある。「この状況ではどの対策がよいか」を考え、きちんと説明できることが重要。
- ・音環境では、70デシベルが子どもにとってよいと言われている環境。コロナ禍により行事や活動が縮小されている現状で、現段階でも子どもと職員にとって良い環境と思われる。今後も引き続き環境を考えながら対応してほしい。

「お迎えについて」

- ・18時までのお迎え、遅れる時は連絡をしてもらう、というルールがあるが、その意味が保護者にしっかりと伝わっていないこともある。入園時の説明書類などに明記しておくことや、継続して守られない場合の対応を保護者に伝えておくことで抑止力となるのではないかと。
- ・保護者が知らないことを「押し量ってほしい」というのも難しい。事情を説明することで理解や協力がいただけることもある。

「午睡について」

・昼寝はあくまでも休息であり、夜の睡眠が成長に影響する。子どもの年齢や発達などによっては午睡が必要ない場合もある。睡眠リズムは今後にも影響するため、家庭と相談して夜間に弊害がでないよう個々に対応するのが望ましい。

藤谷 寛秀 

村山 雅子 